



にっこり☆しっかり!

寒さに負けず1年のまとめへ

穏やかな年明けとなって、もう1ヶ月が過ぎようとしています。花のボランティアの皆さんが育ててくださった校門の花も、昼間の暖かな太陽の日差しを受けて、安心して花びらを広げているようです。

とは言いましても季節は冬。朝の寒さが厳しい日もあり、校門で立っている私に、子供たちが登校途中に見つけた、窓ガラスのような氷を見せてくれる3年生や「先生“氷の棒”見つけてきた!」と私の手に乗せてくれる1年生もいます。

1年生が“氷の棒”と言って見せてくれたのは、霜柱です。氷が細く長く立ち上がっているのを見て、その様に表現したのです。「畑で見つけてきたんだ。」と得意気に話してくれました。少々『大事な作物を踏み散らかしてはいないだろうか?』と不安も私の心になりませんでした。みんなに見せようと少し大きめの葉っぱに包んで、学校まで大事に大事に持ってきた気持ちを感じ、自然の不思議な現象に気づいたことを褒めてあげました。冬だからこそ、長井だからこそ出会える自然です。「先生あげる!!」と私の手に乗せてくれましたが、あっという間に土混じりの水になってしまいました。



さて、今年度も残り2ヶ月となりました。寒さの厳しい日もまだまだ続き、インフルエンザでのお休みも気になり、心配なこともあります。寒いからこそ味わえる楽しさを見つけ、残り少ない今のクラスでの生活を大切にしながら、しっかり1年を振り返る時間を持ちたいと考えています。

その中で、「この1年間でどんな力が自分(自分たち)に付いたのか?」そして、「これからどんな力を付けていかななくてはいけないか?」をしっかりと、じっくり考え、話し合い、新しい学年への階段を昇っていけるようにしていきたいと思えます。

これまでも、お忙しい中、たくさんの御協力をいただいて参りましたが、大事なまとめのこの時期も、学習面・生活面ともにサポートをいただきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。



もとの通学路へ

これまで、長井中学校正門前の道路については、住宅建築や道路補修の関係で、通行を控えるよう子供たちに指導してきましたが、工事が終了しましたので、元のように長井中正門前も通れるということで指導していきます。御協力ありがとうございました。引き続き、車両による本校学校門前の一方通行につきましては、御理解と御協力を御願いたします。



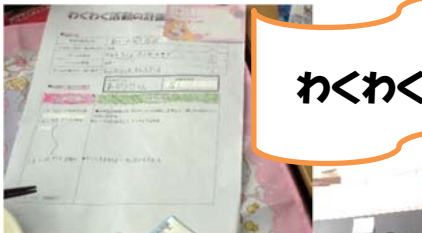
先週も寒さが続き、ついには学校のプールにまで氷ができました。



1年生の子供たちは、それまで、自分の決めた器に氷を作ろうと試みていましたが、風に器ごと飛ばされたり気温がそこまで下がらなかったりと苦労して、氷づくりを諦めかかっていたようですが、大きく広いプールで大きな大きな氷ができたことに大喜び。1時間目が

始まる前に、プールのそばに行ってみると、2クラスとも担任の先生と一緒にプールサイドに行き、虫取り網で先生がすくい上げた氷をプールサイドに置いて触り、「冷たい！」「大きいのがとれた！！」と大騒ぎとなっていました。私を見つけて走り寄ってきた子たち数人は、私の手を握りしめ、「あったか〜い！」と顔がゆるゆるになりました。冷たさの余り手に取った氷をプールの中に投げ込んだことを、他の子供たちが、「校長先生、僕の投げた氷が氷の上をスケートしていったんだよ。」と興奮しながら私に伝えてくれました。

1年生らしい表情や言葉に心が温かくなり、これからもたくさんのかんごを経験する中で、この豊かな感性を持ち続けてほしいと願いました。



わくわく活動

給食の縦割り活動（わくわく給食）を行いました。これまで同様、3・4年生が給食当番を、

5・6年生が全体をリードしながら一緒に会食し、その後作成した計画書を基にゲーム等を行いました。回数を重ねるごとに、緊張感がなくなり、和やかな会話も増えてきていました。



4年生が総合的な学習の時間に取り組んできた「エコ

10歳の「私」にできること



活動」を振り返り、二分の一成人式を迎える10歳の自分たちが、家族や地域の方々のためにできることは何かを考え取り組みを行いました。

クラスにより取り組み方は違いましたが、地域清掃や学校の畑をきれいにする活動を自分たちで計画し実行しました。地域清掃では、特に通学路、海岸をきれいになりたいと考え、朝の8時から授業が始まる前にグループごとに何日もかけて出かけたり、授業中クラス全員で地区に分かれてゴミを拾ったりしました。

私も県営住宅近くの海岸清掃に行きましたが、子供たちの意欲がありすぎて、行くまではマラソン状態となり、一緒について行くのが大変でした。一人一袋持って行ったゴミ袋が、それぞれいっぱいになりましたが、全部拾いきることはできませんでした。

子供たちは拾いきれなかったことが気にかかるようでしたが、“10歳の今”だけでなく、これから自分たちの毎日の生活の中で、「ゴミを落とさない」「自分たちの町をきれいになりたい」という気持ちを持ち続けてほしいと思います。

是非、大人も子供たちと共に、ゴミを落とさず『きれいな私たちの町』を創って参りましょう！

